

絵本で子どもの目がキラキラ

～文部科学大臣（子どもの読書活動優秀実践団体）表彰～

4月28日(金)、教育委員会で子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受けた『おはなしぼけっと』の受賞報告が行われました。

この日は、代表の須藤和恵さんと副代表の山下智美さんが教育委員会を訪れ、武田教育長に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で行われた表彰式の様子を話していました。

『おはなしぼけっと』は、昭和57年に設立し、会員13人で市立図書館を中心に絵本の読み聞かせを行っているサークルです。

須藤代表は、「わたしたちは家庭でお母さんが子どもに本を読んであげる雰囲気、子どもが絵本の内容を想像できるようにゆっくりと読むことを心掛けています。そうすると子どもたちの目がキラキラしてきて、食い入るように真剣に聞いてくれるんですよ。これからはがんばって長く続けたいです」と今後の抱負を話していました。教育長も「長年にわたる読み聞かせの活動が認められたということに大変誇りを感じます」とお祝いの言葉をかけていました。



心のこもったおもてなしを

～登別市観光ボランティアガイド会
平成18年度出発式～

5月1日(日)、登別の観光案内役を務める『登別市観光ボランティアガイド会』の平成18年度出発式が、地獄谷展望台近くの登別パークサービスセンターで行われました。

同会の活動は、平成2年度から始まり、毎年5月から10月まで、地獄谷や大湯沼など登別温泉周辺の見どころを無料で案内しています。

出発式には、25人の会員が出席。会長の相澤英男さんが「登別に来て良かったと思ってもらえるよう、心のこもったおもてなしで観光客の皆さんを出迎えましょう」とあいさつし、今年の活動をスタートさせました。

活動期間中は、悪天候の日を除き、10時から15時まで、そろいの緑のはんてんをまとったボランティアガイドが地獄谷展望台で待機しています。



いきがよい海鮮で活性化

5月14日(日)、登別駅前『登別海鮮直市』（登別まちづくり促進期成会主催）が開かれました。

この催しは、登別漁港で水揚げされた魚介類を、市民や観光客に知ってもらうことと、格安な値段で提供する地域活性化のイベントとして行われ、多くの市民が集まりました。

この日は、あいにくのしけで漁獲がなかったため、マキツブ、サクラマス、ボタンエビ、大南蛮エビの4種類のみを販売。集まった約100人を前にすぐに売り切れていました。

今後は、魚のさばき方や料理方法の講習会などを開きながら、毎週日曜日に行う予定です。

～登別海鮮直市～

